

# ナショナルFF式石油温風機 **National**

(密閉式石油ストーブ)

OK-C502 OK-C652  
OK-C501D OK-C631D  
OK-C502D OK-C632D OK-C1102 **販売店さま用**

設置工事の前に、この工事説明書をよくお読みの上正しく据え付けてください。  
なお、この工事説明書は取扱説明書と一緒に必ず保存してください。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- 施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、設置工事において必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)	
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

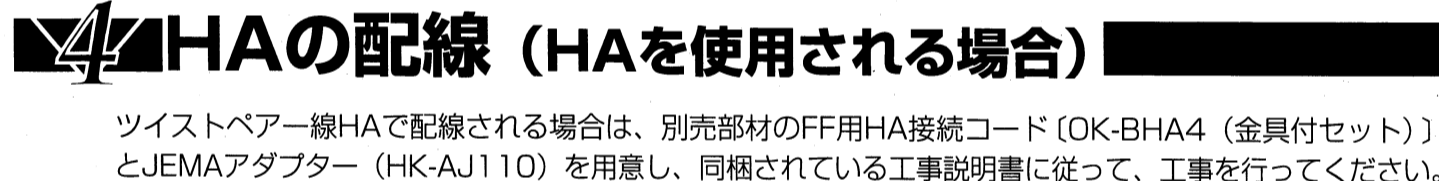
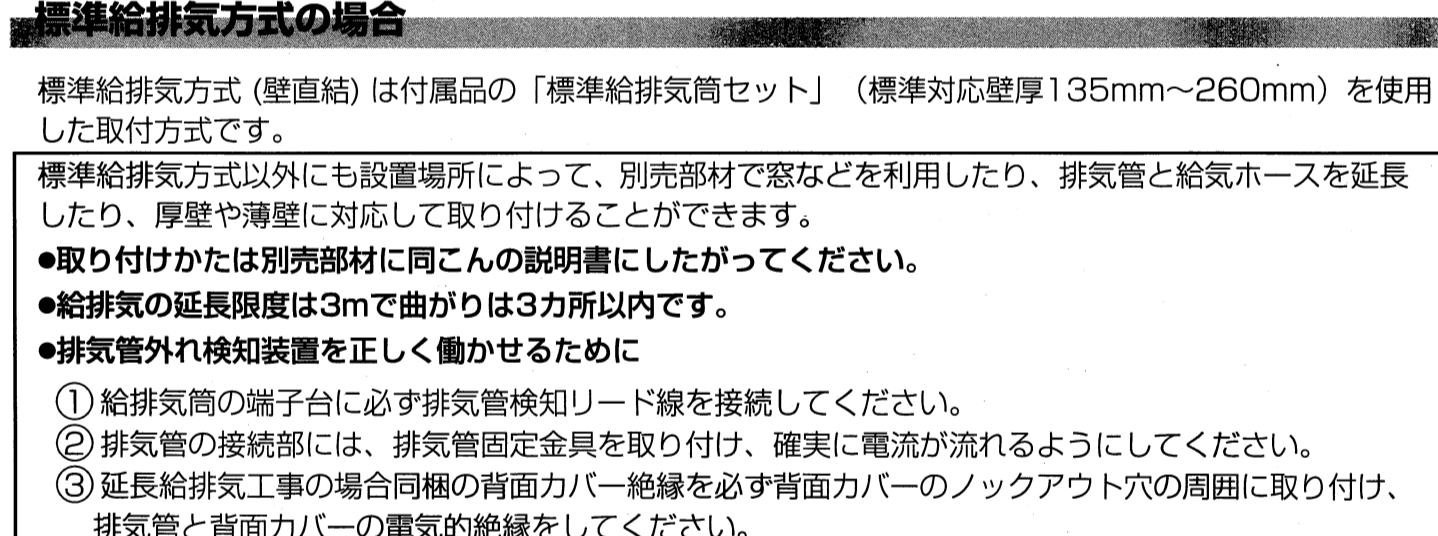
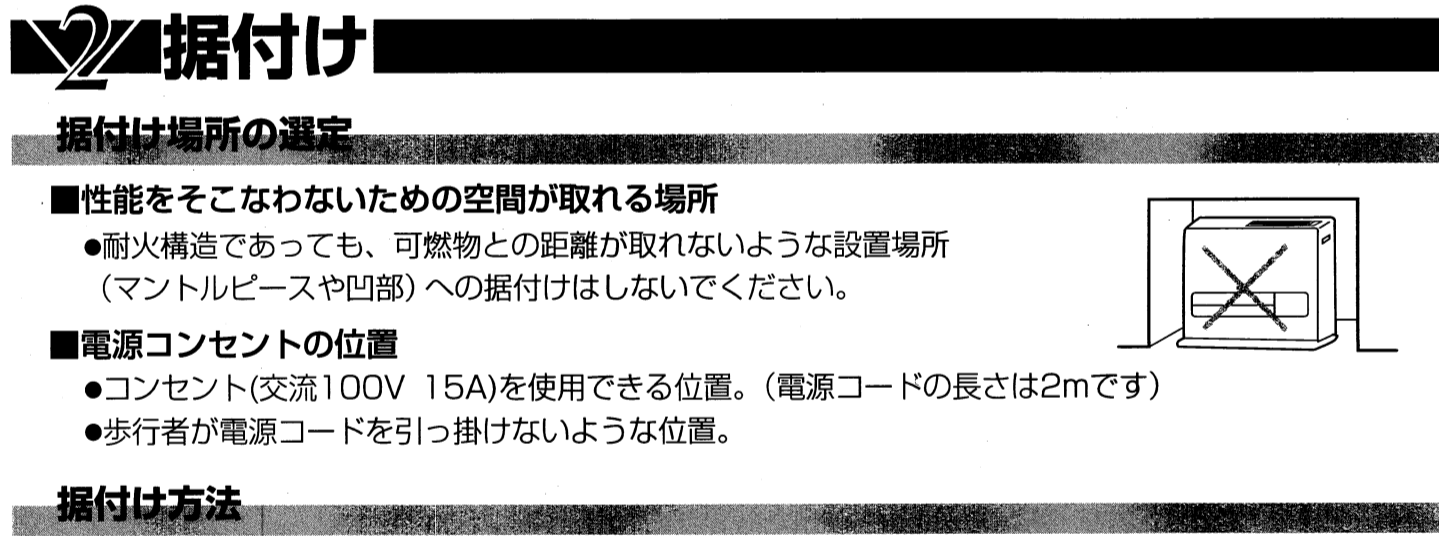
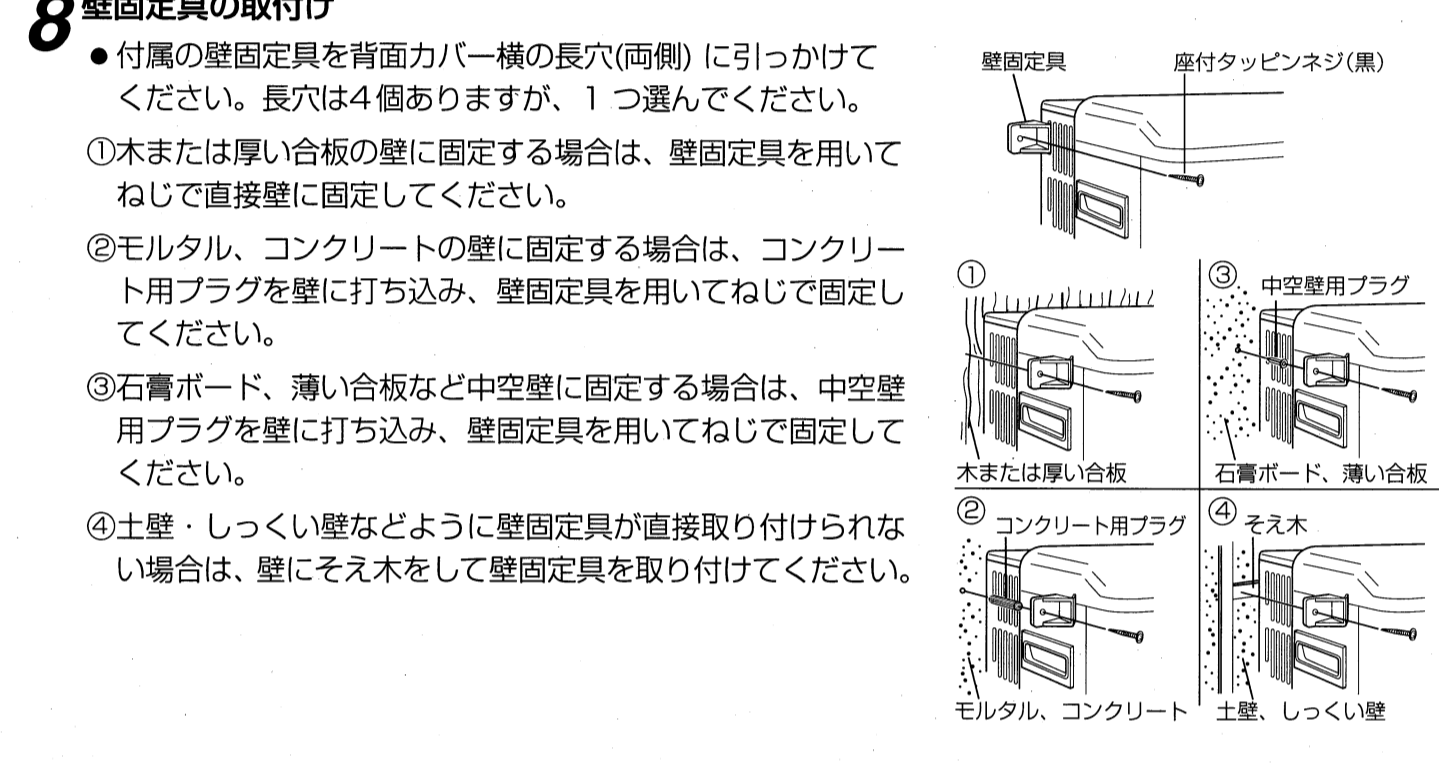
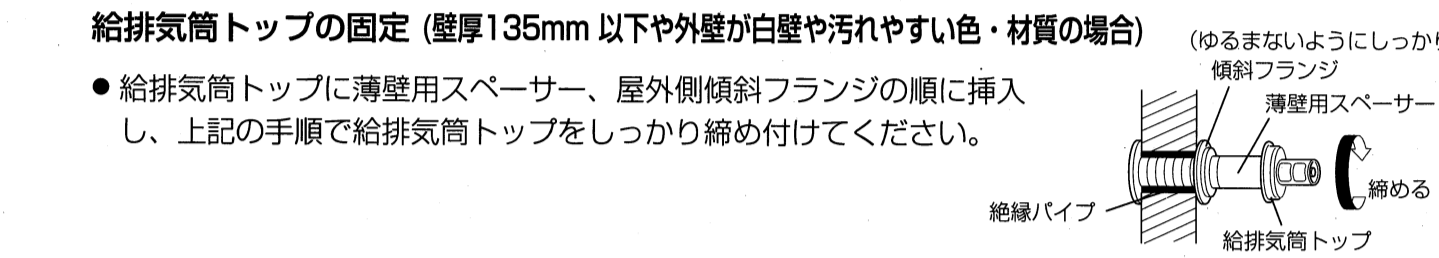
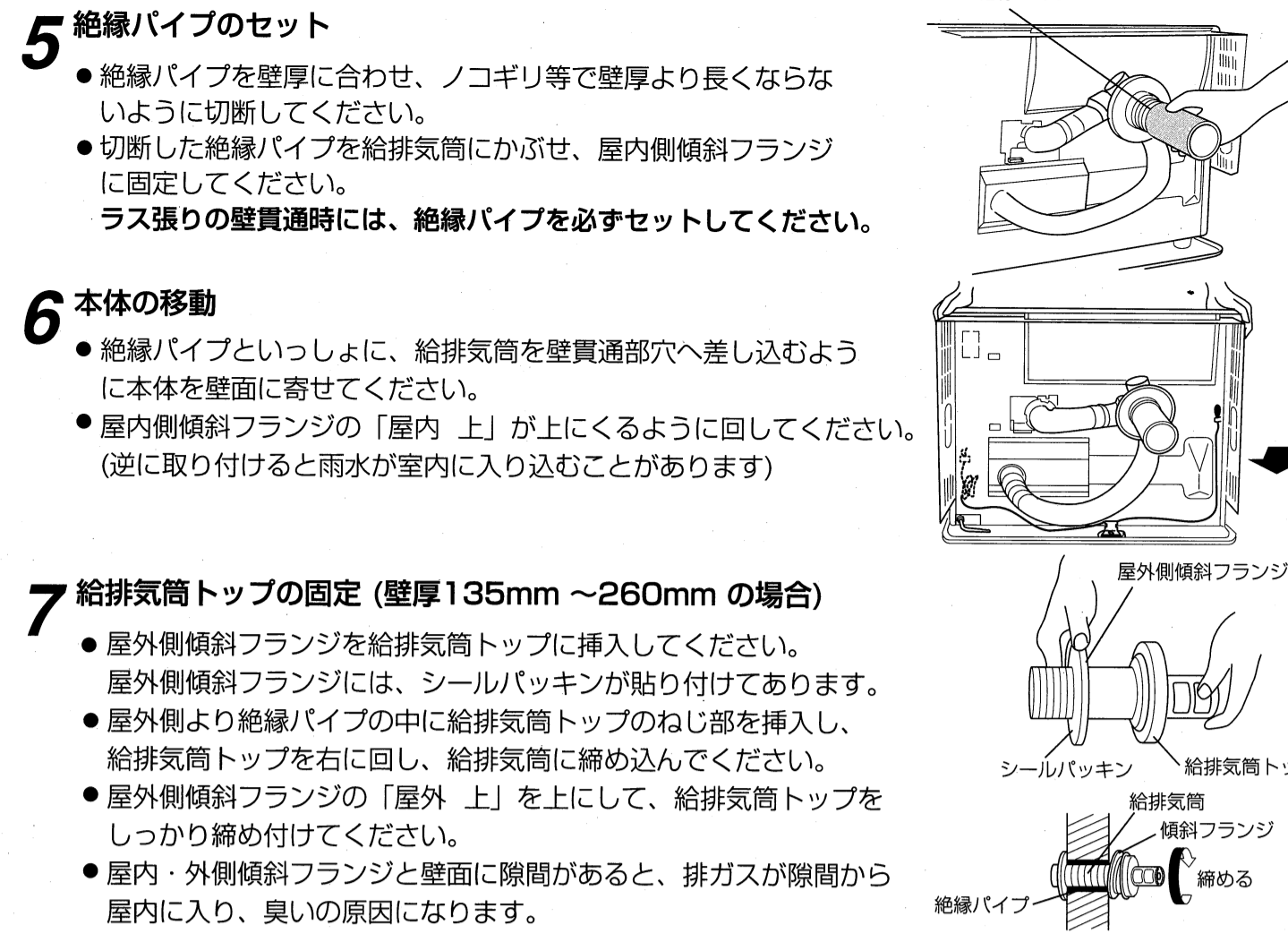
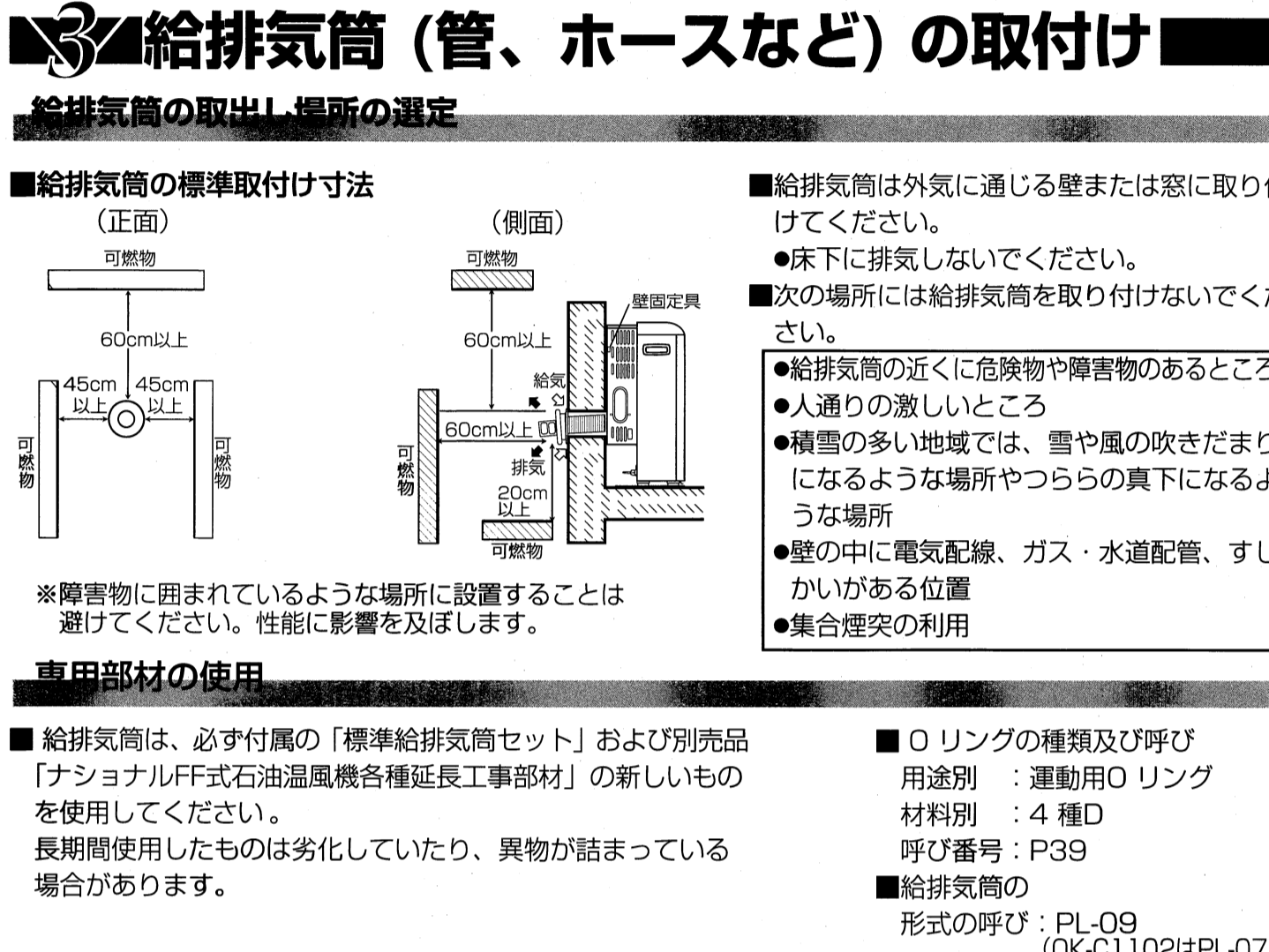
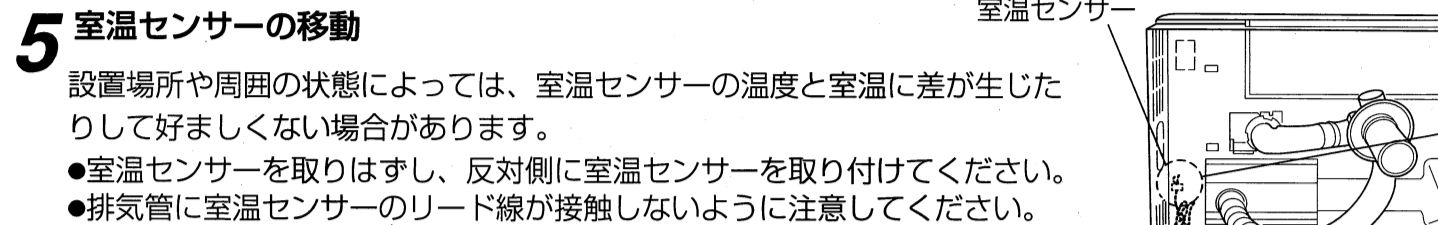
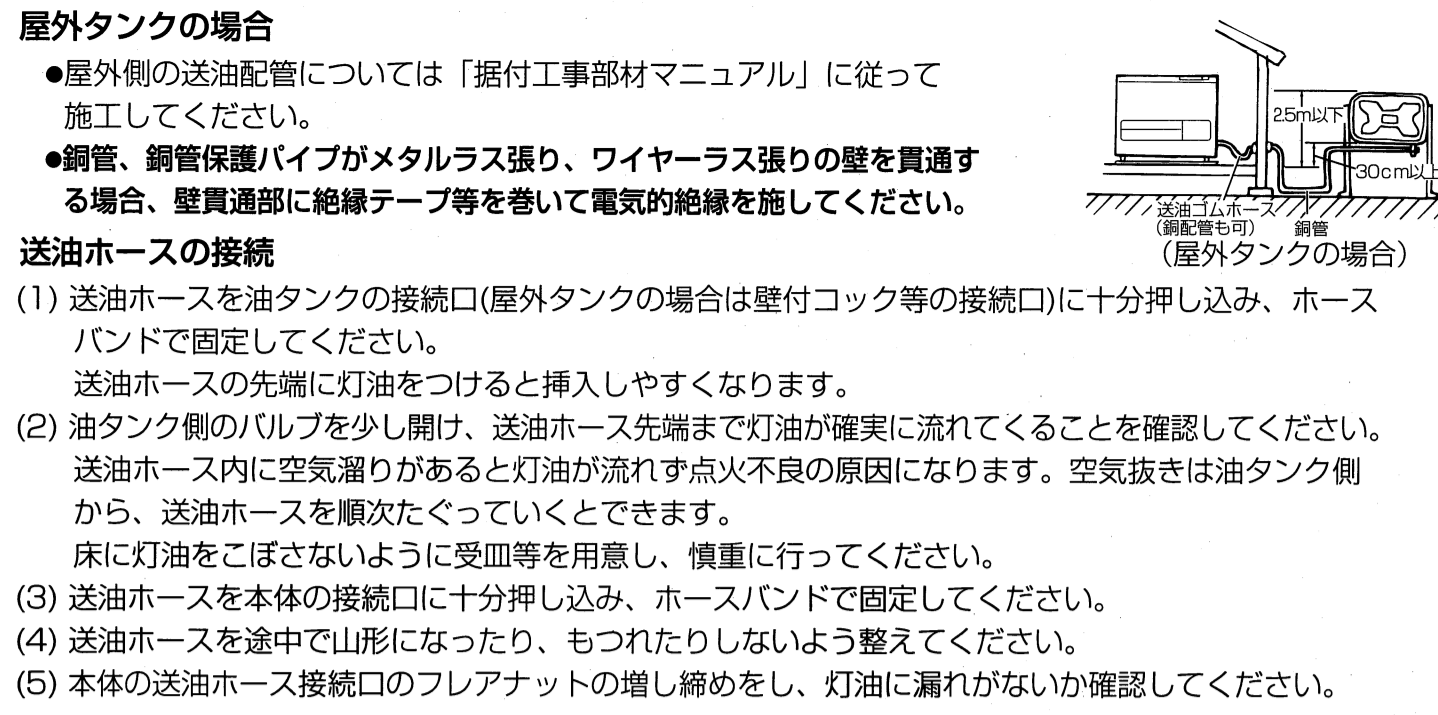
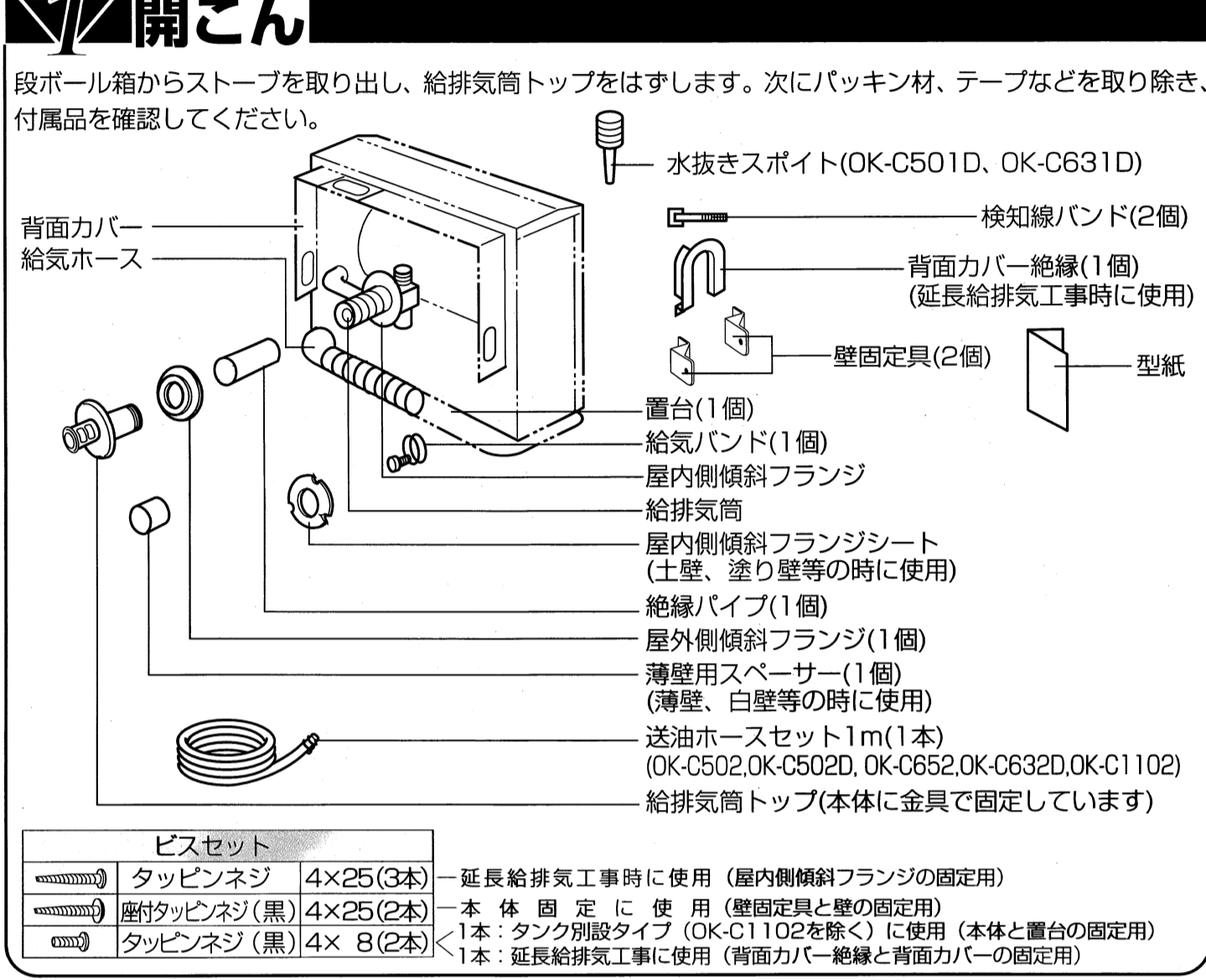
<b>警告</b>	<b>変則工事は絶対にしない</b>
<b>据付けや移動は販売店へ依頼すること</b>	<b>変則工事の例</b>
	●給排気筒をつけない ●給排気筒を屋外に出す ●給排気筒を室内に出す ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
<b>コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや交流100V以外での使用はしない</b>	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
<b>火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事は指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守る</b>	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
<b>この工事説明書、別売部材の説明書に従って工事をする</b>	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する
	●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する ●給排気筒を壁面に固定する

<b>電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない</b>	<b>屋内給排気禁止</b>
<b>外れ危険</b>	<b>床下給排気禁止</b>

<b>注意</b>	<b>送油ホースは屋外で絶対に使用しない(極端に曲げた状態での使用もしない)</b>								
<b>手袋などの保護具を着用して工事をを行う</b>	<b>改造使用の禁止</b>								
<b>給・排気管の延長は長さ3m、曲がりは3カ所以内にする</b>	<b>必ず試運転を行い、安全を確かめる</b>								
<b>次の場所には据付けない</b>	<b>可燃物との距離を離す</b>								
<b>油タンクとの距離を離す</b>	<b>設置場所の条件等により上図の距離をとれない場合、下表の寸法まで近接設置が可能です。</b>								
	<b>防火性能判定による可燃物との距離</b>								
	<table border="1"> <tr> <th>上方</th> <th>側方</th> <th>後方</th> <th>前方</th> </tr> <tr> <td>150cm以上</td> <td>5cm以上</td> <td>10cm以上</td> <td>150cm以上</td> </tr> </table>	上方	側方	後方	前方	150cm以上	5cm以上	10cm以上	150cm以上
上方	側方	後方	前方						
150cm以上	5cm以上	10cm以上	150cm以上						
	●可燃物(木壁、合板壁、ふすまなど)から上図に示す距離をとってください。								
	●付属の置台を据付面においてご使用ください。								

<b>工事終了後給排気筒の点検をする</b>		取り付けが終わったら、もう一度点検してください。次のような取り付けは危険であったり、不完全燃焼をおそれがありますので、必ず修正してください。
<b>可燃物近接禁止</b>		
<b>接続部のゆるみ点検</b>		
<b>下り勾配のごと</b>		
<b>給排気筒トップと開口部との距離を離す</b>		
<b>危険物近接禁止</b>		

※本説明書のイラストはOK-C502D,OK-C632Dで説明しています。



## 5 試運転

●標高・延長による調節について 標高が500m未満で、給排気工事が1.5m未満の延長の場合は、この調節は不要です。

- 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込んでください。
  - 次の手順にしたがって、標高の設定と延長給排気工事の設定をしてください。
- ① 電源スイッチを「切」にする。
  - ② 「時刻合せ」「切タイマー」ボタンを同時に7秒間押す。(OK-C1102は「時刻合せ」「チャイルドロック」ボタンを同時に7秒間押す) … 「ピッ」とブザーが鳴る。デジタル表示部に「 0 0 」を表示。
  - ③ 標高設定: ⊖ ボタンを押し、 標高設定 延長設定  
表示: [0] … 500m未満  
表示: [5] … 500~1000m未満 } のいずれかの標高に設定する。  
表示: [10] … 1000~1500m未満 (ボタンを押すごとに表示が0→5→10→0…と変わります)
  - ④ 延長設定: ⊕ ボタンを押し、  
[0] … 0~1.5m未満 } のいずれかの延長給排気長さに設定する。  
[1] … 1.5~2.5m未満 }  
[3] … 2.5~3m以下 (ボタンを押すごとに表示が0→1→3→0…と変わります)
  - ⑤ 電源スイッチを「入」にする。
  - 以上の操作で調節完了です。

## 試運転

試運転はお客さまと立ち会いで行ってください。

- ### 1 運転準備
- 油タンクに給油し、油タンクや送油管接続部から油漏れがないか確認する。
  - 送油器セットルーバーを2~3回押し下げる。(OK-C502,OK-C502D,OK-C652,OK-C632D,OK-C1102)
  - 電源スイッチが「入」になっていることを確かめてください。
- ### 2 運転
1. 運転スイッチを押す
  2. 運転ランプ点灯。
  3. 設定温度を室内温度より高くする。部屋の温度が設定温度より2℃高いと燃焼しません。部屋の温度が設定温度より2℃低いと燃焼が弱くなります。
  - 約5~6分後(室温0℃のとき)に燃焼が始まります。
  - 燃焼を始めてから約1分半後に温風が吹きます。
  - 温風吹出方向が適当であるかどうかを確認してください。
  - はじめてお使いになるときは塗料の焼きつきによって温風吹出口より煙が出る場合がありますが、しばらく使用するとなくなります。
  3. 運転スイッチを再度押す
  - 運転ランプが消え、消火します。
  - 本体内部の温度を下げるために、約6分間送風します。